

## 開通前の貝塚中根線

昭和63(1988)年3月



▲【写真2】平成29(2017)年  
3月撮影



▲【写真1】昭和63(1988)年3月撮影

写真1は、開通前の貝塚中根線を上柏田で撮影したもので、車が小野川の手前で旧道方面へ迂回しています。写真中央には、木が茂っている辺りから道路が延びており、中根方面へ続いている様子がうかがえます。  
写真2は、同地点の交差点を約30年後に撮影したものです。現在は、平成15年に開通した圏央道の高架が横切るなど街の発展とともに姿を大きく変えています。



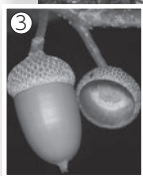
「昔のうしく」の写真(とくに昭和40年代までの写真・東部地区の写真)を募集しています。

## 里山の樹木

問 都市計画課  
☎内線2524

### 第63回 コナラ

ブナ科の落葉広葉樹の高木(高さ15m)。北海道〜九州に分布。市内ではクヌギとともに雑木林の主要樹種です(画像①)。樹皮は灰白色、縦に不規則な裂け目があります。葉



①雑木林のコナラの樹幹と下枝(平成23年11月29日)  
②コナラの雄花序(平成23年4月24日)  
③コナラの果実と殻斗(カクト)(平成10年10月3日)  
※①〜③牛久自然観察の森で撮影

は互生、長さ7〜10cmの長楕円形、先がとがり、鋸歯がありません。葉の表面は緑色で、裏面は灰白色。開花期は4〜5月、雄花は新枝の基部に多数集まり、紐状に2〜6cm下垂(画像②)。雌花は新枝の上部の葉の付け根に2〜3個つく、果実(どんぐり)は楕円形で長さ1・6〜2・2cm(画像③)。名前は大型のミズナラに対し、小型のナラの意味です。材は新炭材やシイタケのホダギに利用されています。  
※牛久の里山樹木ハンドブック18ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。  
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章:本田寛、写真:渡辺泰)

## 文芸さろん | 弥生

桜紙解くや籬 <small>ひいな</small> の笑みこぼる	高階 <small>たかはし</small> さん
寒の沼夕映え黒き牛久富士	庄司さん
参道の梅ほころびて和みたり	和多田さん
ゆずの皮冬の陽あびて反りかえる	サッコ
春風はお宮参りの児をなでて	宮内さん
もう少し桜の季節頑張ろう	月田さん
花粉症年を重ねて軽くなり	あおたん
氷雨突き旅立つ孫の逞しく	堀さん
春陽うけ眩しさ溢る牛久沼	ひとしくん



◀イラスト/長沢さん

### 〈次回募集テーマは「春」〉

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など  
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1  
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512  
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp  
【記載事項】作品、氏名、電話番号  
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



※掲載作品は担当課にて審査の上、決定します。投稿いただいた作品が必ず掲載されるわけではありません。